

## I. 胃がん検診全国集計

## II. 大腸がん検診全国集計

## III. 食道がん検診および肝胆膵検診全国集計

日本消化器がん検診学会全国集計委員会

顧問：北川 晋二

委員：水口 昌伸, 宮川 国久, 入口 陽介, 大泉 晴史,  
大黒 隆司, 小川 眞広, 小林 正夫, 丹羽 康正,  
藤谷 幹浩, 松浦 隆志

### はじめに

全国集計委員会が担当する全国集計は、今回でその31回目にあたる。平成25年度の調査は調査票を送付する方法に加え、コンピューター入力用プログラムを送付しCD-Rディスクにて回答を求める方法も行った。

### I 胃がん検診全国集計成績

#### 1. 胃がん検診全国集計対象機関の区分と機関別受診者

検診機関を区分別にみると、検診の統計をよく行っているI群の割合は、361カ所中319カ所（88.4%）であった（表1）。

平成25年度の受診者総数は、6,776,770人で、発見胃癌の実数は5,216例（0.077%）であった。精検受診率を100%とした場合の推定発見胃癌数8,478例（0.125%）であった（表2）。

胃がん検診の受診者総数の年次別推移をみると、図1に示すように平成25年度の受診者総数は、前年度と比べ約17万人、2.5%減少した。

#### 2. 撮影方法

胃X線撮影法について検診機関数を分母にして

みると、撮影枚数が6枚の機関はなく、7枚が3.9%、8枚以上が93.3%で、増加傾向を示し、学会の勧告した標準枚数がかなり定着していると考えられた（図2-a）。200%以上のバリウムを用いている施設は、85.1%を占めていた（図2-b）。バリウムの量は、131~150mlが最も多く使われており、少量の高濃度バリウムで検査する施設が増加していた（図2-c）。バリウムの濃度と量の関係を図2-dに示すが、負の相関を示した。

撮影者については、医師が撮影する機関は2.2%、技師が行う機関は91.5%、両者が3.3%であった（図2-e）。

#### 3. 読影状況

読影状況についてみると、ダブルチェックを行っていない機関が11.4%あった（図3-a）。認定医の有無についてみると、67.9%に学会認定医がいるという状況であった（図3-b）。

#### 4. 精検後の管理

精検後の管理の方法について述べると、精検の実施方法では、X線検査であるもの3.9%、内視鏡検査であるもの82.8%、X線検査と内視鏡検査両方を施行しているのは1.7%であった。要精

表1 胃がん検診全国集計対象機関の区分（平成25年度）

	機関数
	1) X線造影がん検診
I 群 性・年齢別に受診者、要精検者、精検受診者、発見胃癌患者が把握され、且つ癌患者の個人票の揃っているもの	319 (88.4%)
II 群 性・年齢別に集計されていないもの及び集計数のみ判明するもの	42 (11.6%)
計	361

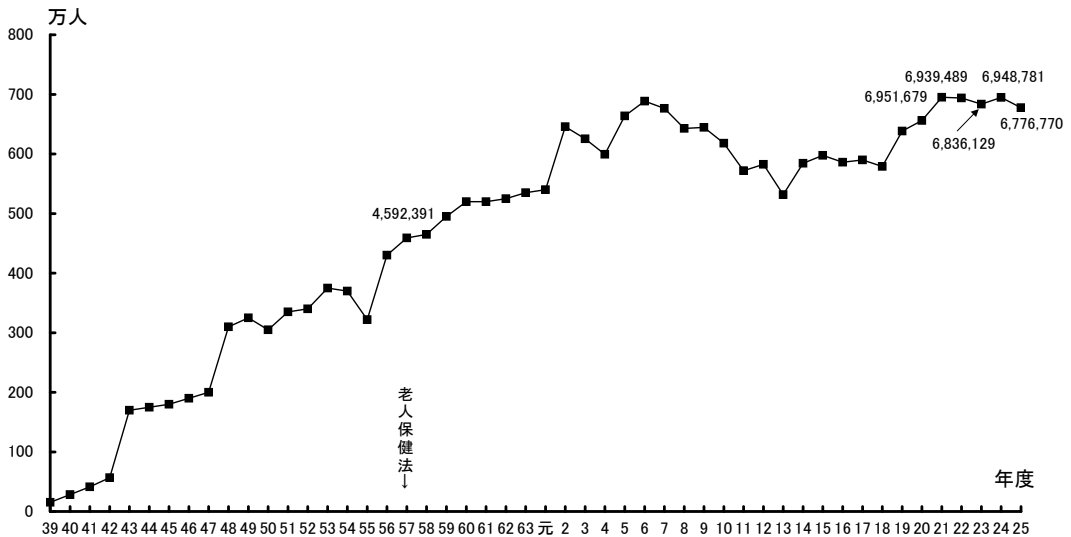
(注): 1)X線造影検査法による胃がん検診のこと

表2 対象機関別受診者数と発見胃癌数  
(平成25年度, 男女計, 胃 X線対象区分の合計)

区分	受診者数	発見胃癌数 (実数)	率	(推定数)	(推定率)
I 群	6,489,456	5,213	0.080%	8,157	0.126%
II 群	287,314	3	0.001%	266	0.093%
総計	6,776,770	5,216	0.077%	8,478	0.125%

\* 推定率は各群の精検受診率 (I 群63.9%、II 群1.1%)を100とした場合、未受診者も受診者と同じ率で、胃癌が発見されるものとして算出したもの

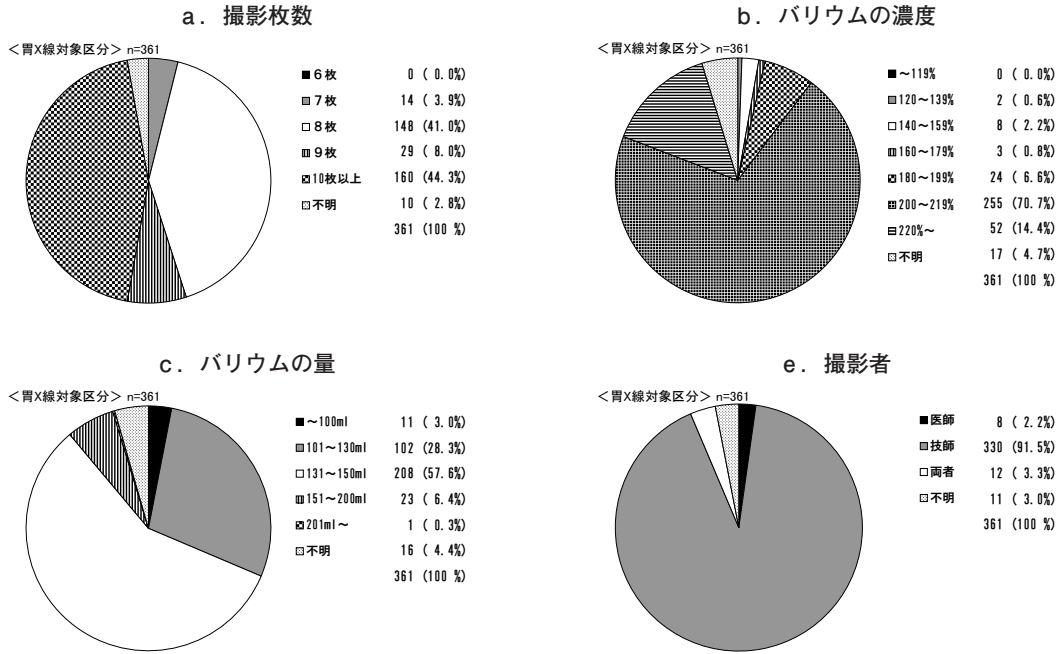
図1 胃がん検診の年度別集計対象数の推移（昭和39年度～平成25年度学会による全国集計）



検者に対する受診勧奨をしているのは92.5% (図4-b), 精検結果の把握をしているところは86.4% (図4-c), 精検未受診者への受診勧奨

を行っているのは66.7% (図4-d), 発見胃癌患者への治療の勧奨を積極的に進めているところは60.2% (図4-e), 手術結果の調査をしてい

図2 撮影方法



d. バリウムの濃度と量

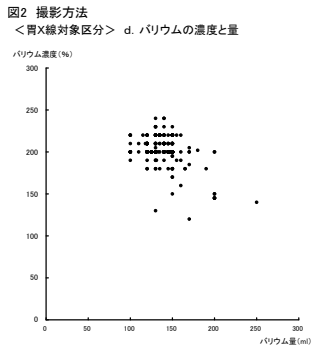


図3 読影状況

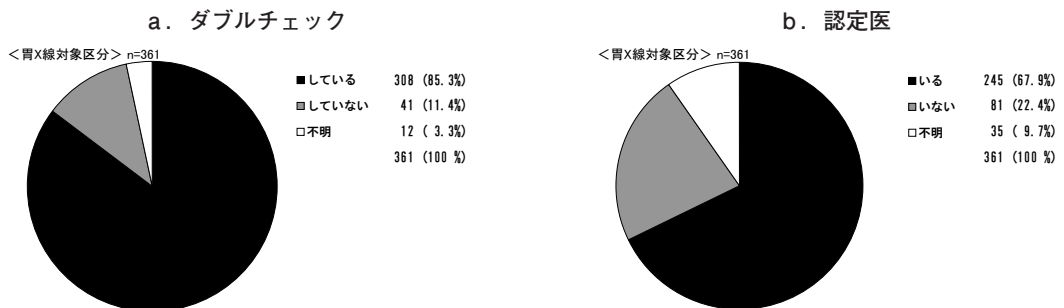


図4 精検後の管理

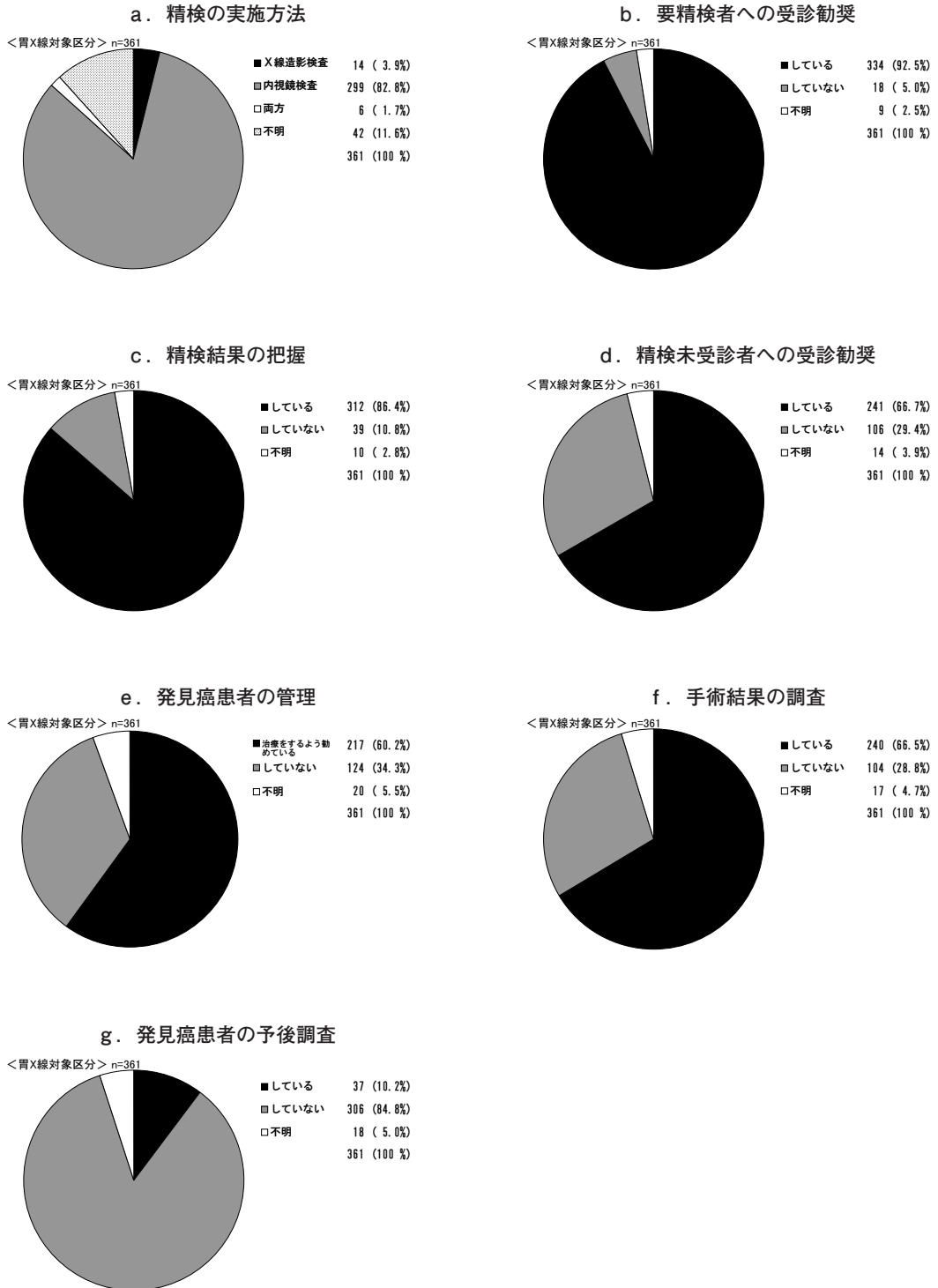
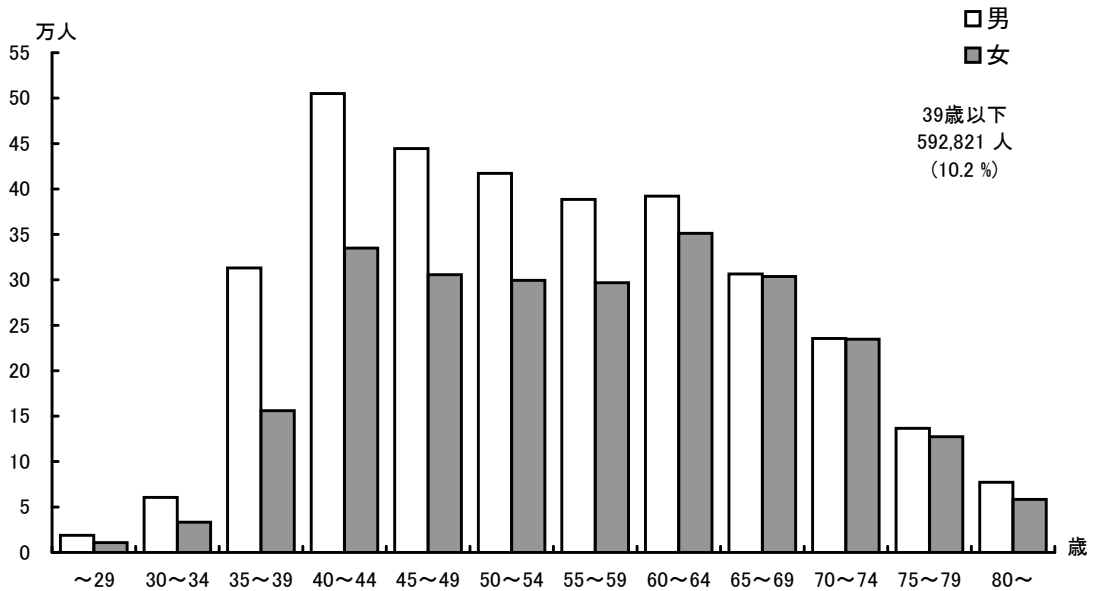


表3 地域・職域・その他検診別の検診成績

(Ⅰ, Ⅱ群, 胃X線対象区分がん検診, 男女合計, 平成25年度)

	地域検診	職域検診	その他	計
検診数	2,522,977	3,689,357	564,436	6,776,770
要精検者数	216,576	209,460	31,444	457,480
要精検率	8.6%	5.7%	5.6%	6.8%
精検受診者数	172,937	91,282	17,232	281,451
精検受診率	79.9%	43.6%	54.8%	61.5%
発見胃癌数	3,796	1,124	296	5,216
発見率	0.150%	0.030%	0.052%	0.077%

図5 性・年齢階級別受診者数 (平成25年度)  
(地域, 職域, その他合計)



るところは66.5% (図4-f), またその予後調査をしているところは10.2%であった(図4-g)。

#### 5. 地域・職域検診別の成績

地域検診と職域検診に分けて検討すると, 地域検診が2,522,977人, 職域検診が3,689,357人で前者が40.6%を占めていた。地域検診と職域検診との精検受診率を比較してみると, 各々79.9%と43.6%であり, 両者に著しい差が認められ, 職域検診の一次検診後の管理に依然として不備が感じられ

た。その結果, 後述する職域検診での39歳以下の若年受診者の占める割合が多いこととあいまって, 職域検診での胃癌発見率は0.030%と, 地域検診の0.150%の5分の1であった(表3)。

#### 6. 性・年齢階級別受診者数および疾患発見率

地域, 職域, その他がん検診を合計した性・年齢階級別の受診者数を図5に示した。男の分布は女に比べ若年者が多かった。胃癌発見率は男で0.114%, 女で0.050%, 男が女の2倍以上の発見

表4 性・年齢別胃がん検診全国集計成績—男性—胃X線対象区分, 地域・職域・その他合計 (平成25年度)

	総数	29以下	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	3,303,030	18,848	60,491	313,194	505,150	444,531	417,259	388,537	392,041	306,409	235,396	136,667	77,241	7,266
B 要精検者数	253,685	481	1,787	10,124	21,813	23,494	29,330	35,229	42,609	34,865	27,231	16,431	9,215	1,076
B/A %	7.68 %	2.55 %	2.95 %	3.23 %	4.32 %	5.29 %	7.03 %	9.07 %	10.87 %	11.38 %	11.57 %	12.02 %	11.93 %	14.81 %
C 精検受診者数	154,622	201	840	4,684	10,410	11,153	14,751	18,295	25,682	24,977	21,427	13,616	7,699	887
C/B %	60.95 %	41.79 %	47.01 %	46.27 %	47.72 %	47.47 %	50.29 %	51.93 %	60.27 %	71.64 %	78.69 %	82.87 %	83.55 %	82.43 %
D 胃癌	3,750	0	0	10	38	60	170	314	592	708	807	617	405	29
D/A %	0.114 %	0.000 %	0.000 %	0.003 %	0.008 %	0.013 %	0.041 %	0.081 %	0.151 %	0.231 %	0.343 %	0.451 %	0.524 %	0.399 %
非上皮性悪性腫瘍	71	0	0	3	0	4	5	10	14	17	8	8	2	0
胃腺腫(異型上皮)	712	1	0	3	3	7	16	55	121	142	142	117	96	9
胃ポリープ	17,252	23	119	573	1,227	1,338	1,509	1,805	2,568	2,752	2,498	1,732	1,012	96
胃潰瘍	19,905	10	43	440	1,165	1,447	2,197	2,990	3,954	3,258	2,276	1,285	755	85
その他の胃良性疾患	73,907	77	331	1,956	4,634	5,020	6,853	8,652	12,497	12,525	10,700	6,743	3,578	341
異常なし	23,039	73	249	1,144	2,063	2,050	2,389	2,665	3,475	3,143	2,797	1,763	1,111	117

\*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

表5 性・年齢別胃がん検診全国集計成績—女性—胃X線対象区分, 地域・職域・その他合計 (平成25年度)

	総数	29以下	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	2,519,843	10,925	33,210	156,153	334,888	305,739	299,422	296,891	351,307	303,619	234,624	127,448	58,327	7,290
B 要精検者数	148,471	248	927	4,487	12,830	13,173	15,425	17,930	24,755	23,098	18,500	11,030	5,235	833
B/A %	5.89 %	2.27 %	2.79 %	2.87 %	3.83 %	4.31 %	5.15 %	6.04 %	7.05 %	7.61 %	7.88 %	8.65 %	8.98 %	11.43 %
C 精検受診者数	110,186	122	557	2,522	7,971	8,090	10,027	12,521	19,033	18,968	15,725	9,485	4,440	725
C/B %	74.21 %	49.19 %	60.09 %	56.21 %	62.13 %	61.41 %	65.00 %	69.83 %	76.89 %	82.12 %	85.00 %	85.99 %	84.81 %	87.03 %
D 胃癌	1,248	0	2	6	48	44	67	119	194	248	215	177	124	4
D/A %	0.050 %	0.000 %	0.006 %	0.004 %	0.014 %	0.014 %	0.022 %	0.040 %	0.055 %	0.082 %	0.092 %	0.139 %	0.213 %	0.055 %
非上皮性悪性腫瘍	56	0	0	0	3	2	3	2	6	13	15	10	2	0
胃腺腫(異型上皮)	271	0	1	2	4	3	10	13	42	60	57	44	32	3
胃ポリープ	22,937	23	142	751	2,534	2,279	2,285	2,462	3,354	3,438	2,844	1,787	910	128
胃潰瘍	6,555	1	15	75	305	406	693	895	1,225	1,149	890	566	301	34
その他の胃良性疾患	50,750	47	204	837	2,758	3,073	4,286	5,764	9,501	9,506	7,950	4,553	1,980	291
異常なし	18,681	40	138	653	1,628	1,607	1,848	2,166	3,022	2,833	2,376	1,535	732	103

\*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

図6 地域検診の年齢階級別受診者数 (平成25年度) (胃X線対象区分, 男女合計)

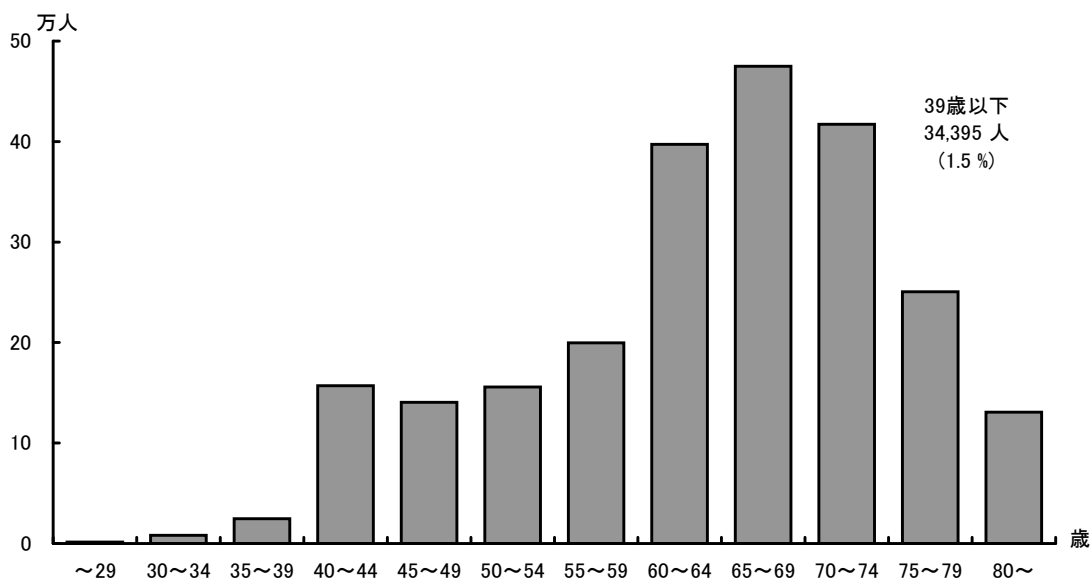


図7 職域検診の年齢階級別受診者数（平成25年度）（胃X線対象区分，男女合計）

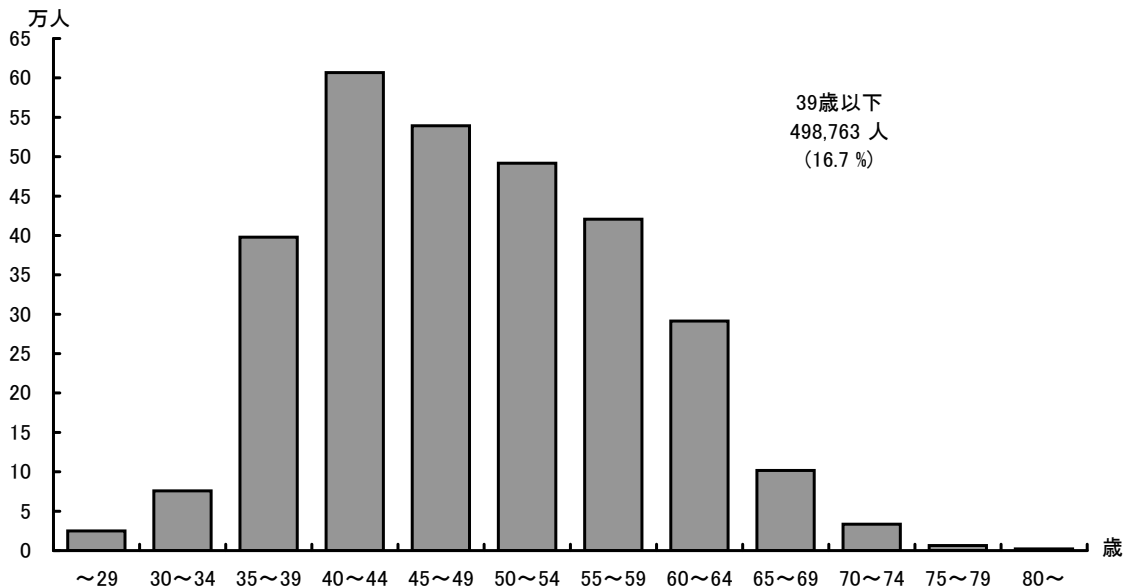


表6 発見疾患とその頻度（年次別推移）（男女計）

年度	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	
胃疾患	A	5,494	5,304	4,732	4,790	5,272	4,984	5,057	5,001
	B	7,704	7,623	6,938	6,976	8,046	7,663	7,831	7,596
	B/C	0.14	0.15	0.14	0.15	0.14	0.13	0.13	0.13
胃ポリープ	A	56,987	51,438	46,397	43,350	49,603	46,407	44,693	40,449
	B	79,914	73,926	68,031	63,137	75,707	71,351	69,206	61,435
	B/C	1.49	1.42	1.33	1.33	1.30	1.21	1.15	1.04
胃潰瘍	A	39,221	33,399	30,760	31,218	32,873	32,067	29,509	26,548
	B	55,001	48,001	45,103	45,468	50,172	49,304	45,694	40,322
	B/C	1.02	0.92	0.88	0.96	0.86	0.83	0.76	0.68
受診者総数	5,370,924	5,221,232	5,125,322	4,755,413	5,837,975	5,920,600	5,994,971	5,887,024	

\*性別、5歳階級別に集計可能な受診者数を母数とした

A:実数、B:要精検者が全員精検を受診した場合の推定数、C:受診者総数

率であった。胃ポリープは男が0.52%，女が0.91%で，逆に女の方が1.7倍発見率は高かった。胃潰瘍は男が0.60%，女が0.26%で，男が2.3倍であった（表4，5）。

39歳以下の受診者は男女あわせて約59万人おり，これは全受診者数の10.2%を占めていた。これを地域と職域検診に分けてみると，地域検診では39歳以下は男女あわせて1.5%であった。一方，職域検診では39歳以下が16.7%と，若年層受診者の占める頻度は地域検診に比べ，11倍高かった（図

6，7）。

#### 7. 発見疾患の年次推移

表6は各胃疾患の発見率の年度別推移を表したものである。受診者総数（C）は，性別，5歳階級別に各疾患の発見数と頻度が算出可能なものを分母として算出した。表のうち，Aは発見実数，Bは要精検者が全員精検を受診した場合の推定患者数で，B/Cは推定発見率である。平成25年度の推定発見率は，胃癌0.13%，胃ポリープ1.04%，

表7 治療方法（平成25年度）

総 数	3,646
外科手術	1,282
腹腔鏡下手術	877
内視鏡的治療	1,213
化学療法	82
無治療	45
その他	37
不明	110

表8 手術の種類（平成25年度）

総 数	2,138
切除術	2,098
ポリープ摘除術	2
吻合術	13
単開腹	9
造瘻	0
不明	16

表9 腫瘍の遺残（R）（平成25年度）

総 数	1,985
RX	43
RO	1,412
R1	40
R2	37
不明	453

表10 癌病巣の数（平成25年度）

単 発	3,160
2 個	254
3 個	38
4個以上	34
不明	74
合 計	3,560

表11 発見胃癌の占居部位Ⅰ（平成25年度）

部 位	病巣数	%
U	638	18.1
M	1,655	46.8
L	1,187	33.6
全 体	52	1.5
合 計	3,532	100.0

表12 発見胃癌の占居部位Ⅱ（平成25年度）

部 位	病巣数	%
小 彎	1,349	38.5
大 彎	657	18.8
前 壁	539	15.4
後 壁	839	24.0
全 周	116	3.3
合 計	3,500	100.0

表13 発見胃癌の大きさ（平成25年度）

長径(cm)	病巣数	%
～1.0	438	13.7
1.1～2.0	813	25.4
2.1～5.0	1,455	45.5
5.1～	493	15.4
合 計	3,199	100.0

胃潰瘍0.68%であった。年度別の変化をみると胃ポリープと胃潰瘍の発見率は減少していた。

## 8. 発見胃癌患者の追跡調査

### 1) 手術成績

集計個票が全国集計委員会に送られてきた発見胃癌の治療の種類をみると、外科手術は3,646例中1,282例（35.2%）、腹腔鏡下手術は877例（24.0%）、内視鏡的治療は1,213例（33.3%）に施行されていた。腹腔鏡下手術や内視鏡的治療の頻度は



表14 切除胃癌の深達度別頻度（平成25年度）

総数	M	SM	MP	SS	SE	SI
3,344 (100.0%)	1,646 (49.1%)	858 (25.7%)	294 (8.8%)	296 (8.9%)	221 (6.6%)	29 (0.9%)
	M + SM		MP + SS + SE + SI			
	2,504 (74.8%)		840 (25.2%)			

表15 Stage分類（平成25年度）

Stage	例数	%
I A	2,280	66.5
I B	294	8.6
II A	192	5.6
II B	149	4.4
III A	103	3.0
III B	86	2.5
III C	58	1.7
IV	120	3.5
不明	143	4.2
計	3,425	100.0

表16 肉眼分類（平成25年度）

肉眼分類	例数	%
0型	2,610	74.2
1型	101	2.9
2型	356	10.1
3型	291	8.3
4型	107	3.0
5型	54	1.5
計	3,519	100.0

表17 0型（表在型）の亜分類（平成25年度）

肉眼分類	例数	%
I	133	5.1
II a	523	20.0
II a+ II c	299	11.5
II b	61	2.3
II c	1,301	49.7
II c+ III	59	2.3
II c+ II a	81	3.1
III+ II c	12	0.5
III	15	0.6
その他の組み合わせ	109	4.2
不明	17	0.7
計	2,610	100.0

年々増加していた（表7）。手術の種類では、2,138例中2,098例（98.1%）に切除術が施行され、治癒切除は不明を除くと92.2%を占めた（表8, 9）。多発癌は3,560例中326例（9.2%）を占めていた（表10）。

## 2) 占居部位

発見胃癌のUML区分でみた占居部位は、Uが18.1%、Mが46.8%、Lが33.6%であった（表11）。壁在性でみると小彎が38.5%で最も多く、次いで後壁が24.0%で、前年度とほぼ同様な傾向がみられた（表12）。

## 3) 大きさ

長径1cm以下の小胃癌が13.7%、1.1~2.0cmが25.4%で、あわせて39.1%であった（表13）。

## 4) 切除胃癌の深達度別割合

切除胃癌の深達度別頻度をみると、M癌が49.1%、SM癌が25.7%、あわせて74.8%であり、検診発見胃癌の約3/4は早期癌であった（表14）。

## 5) Stage分類

Stage I Aは66.5%と2/3を占め、Stage IVは3.5%であった（表15）。

図8 発見胃癌例の検診受診歴と早期癌の頻度（平成25年度）

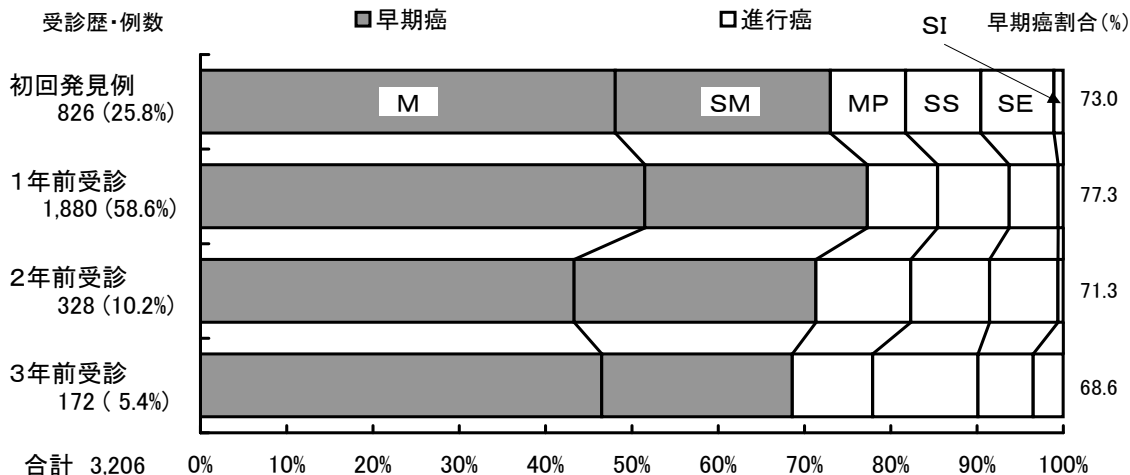


表18 内視鏡胃がん検診の全国集計成績（平成25年度）

受診者総数	485,429 人
男	270,537 人 (55.7%)
女	214,892 人 (44.3%)
発見疾患と発見率	
胃癌	1,050 (0.22%)
(うち早期癌 756名)	(0.16%)
胃潰瘍	16,150 (3.33%)
胃ポリープ	81,645 (16.82%)

(年間500人以上実施し、集計可能な機関についての集計)

表19 大腸がん検診全国集計対象機関の区分（平成25年度）

	機関数
I 群	246
II 群	38
計	284

表20 大腸がん検診の対象（重複回答）（平成25年度）

地域	職域	その他	検診機関数
217 (76.4%)	220 (77.5%)	137 (48.2%)	284

表21 大腸がん検診のScreeningの方法（平成25年度）

(1) 検便法	174 (61.3%)
(2) 検便法+問診	139 (48.9%)
(3) 直接法	33 (11.6%)
検診機関数	284

#### 6) 肉眼分類

0型（表在型）が74.2%と最も多く、そのうちIIc型が49.7%と半数を占めた。4型は3.0%であった（表16, 17）。

#### 7) 発見胃癌例の集検受診前歴

受診前歴の記載された胃癌3,206例について、

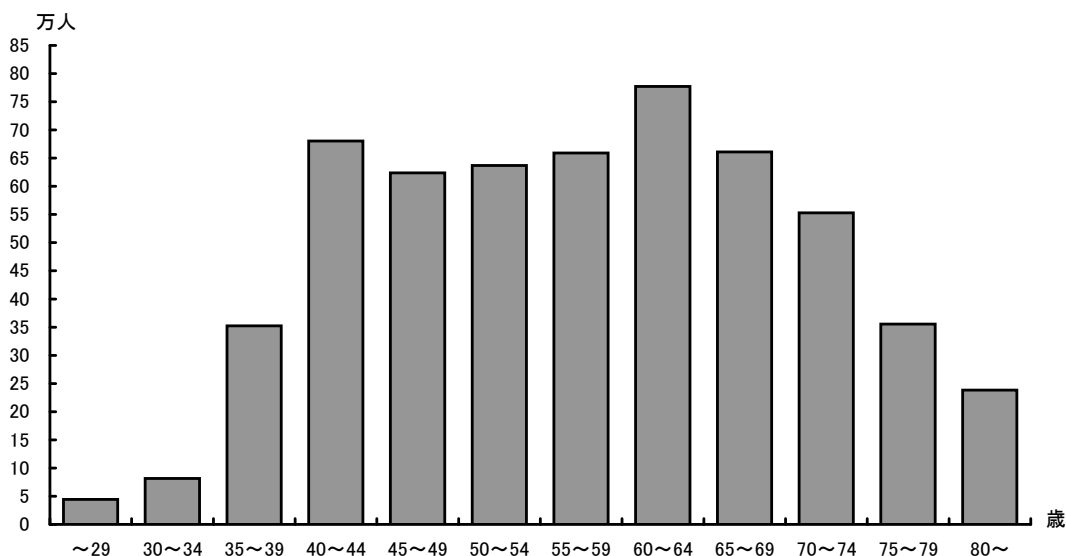
集検受診歴区分でみると、初回発見例が全胃癌のうち25.8%を占め、1年前受診例、即ち2年連続受診で発見されたものが58.6%を占めた（図8）。

各受診歴別に胃癌に占める早期胃癌の割合をみると、初回発見例が73.0%で、1年前、2年前、3年前の早期胃癌の割合は各々77.3%、71.3%、68.6%であった。1年前に受診歴のある例では、受診歴のない例及び2年前、3年前受診歴のある例に対して、統計学的有意差をもって、早期癌を高率に認めた（図8）。

表22 大腸がん検診成績（男女計，平成25年度）

	地域	職域	その他	計
(1)受診者数	3,200,845	3,224,758	606,981	7,032,584
(2)要精検者数 (2)÷(1) (%)	230,482 (7.2 %)	172,016 (5.3 %)	34,987 (5.8 %)	437,485 (6.2 %)
(3)精検受診者数 (3)÷(2) (%)	163,251 (70.8 %)	54,943 (31.9 %)	17,817 (50.9 %)	236,011 (53.9 %)
(4)大腸癌患者数 (4)÷(1) (%)	7,130 (0.223 %)	1,411 (0.044 %)	560 (0.092 %)	9,101 (0.129 %)

図9 大腸がん検診受診者数の年齢階級別分布  
(地域，職域，その他，男女計，平成25年度，総数5,663,621名)



### 9. 内視鏡胃がん検診の全国集計成績

一次スクリーニングとして内視鏡を用いた、いわゆる内視鏡胃がん検診は、X線撮影法による胃がん検診のような受診者の性年齢区分をした詳細ながん検診成績の回答は求めず、前年度と同様簡単な集計にとどめた。対象も前年度と同様に、年間500人以上の内視鏡胃がん検診を施行した機関のみに限定した。このような条件で集計すると、内視鏡がん検診の受診者総数は485,429人、発見胃癌1,050例（発見率0.22%）、うち早期癌は756例（72.0%）を占めた。胃癌発見率は高率であった（表

18）。

### II 大腸がん検診全国集計

平成25年度に実施された大腸がん検診の全国集計調査に回答を寄せた機関は284カ所で、検診の統計をよく行っているI群の割合は86.6%であった（表19）。

#### 1. 大腸検診の受診対象

大腸検診の受診対象は表20に示すように重複回答であるが、地域検診は76.4%、職域検診は77.5%、その他検診は48.2%で行われていた。

図10 大腸がん検診の要精検率および精検受診率  
(地域, 職域, その他, 男女計, 平成25年度)

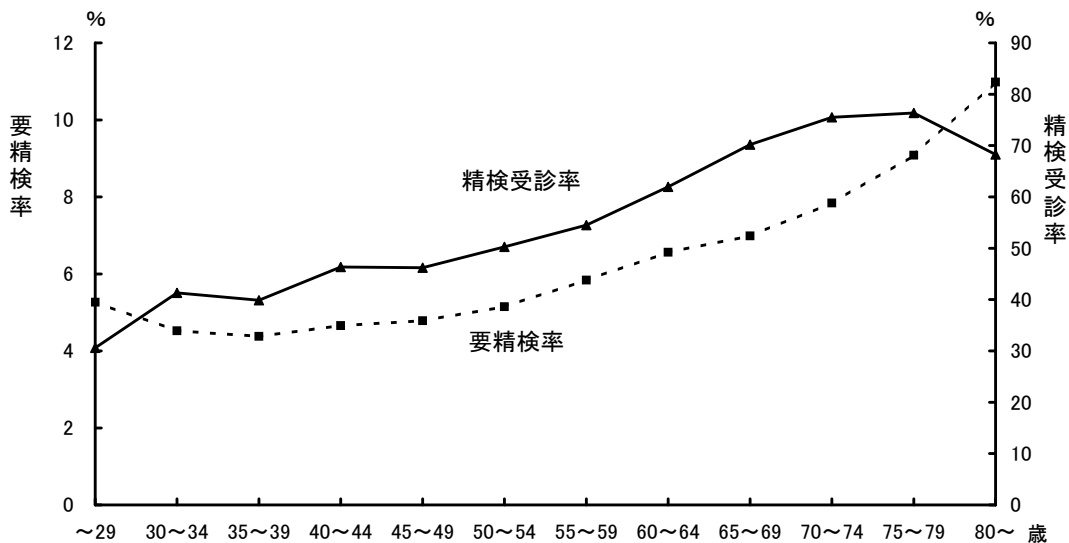
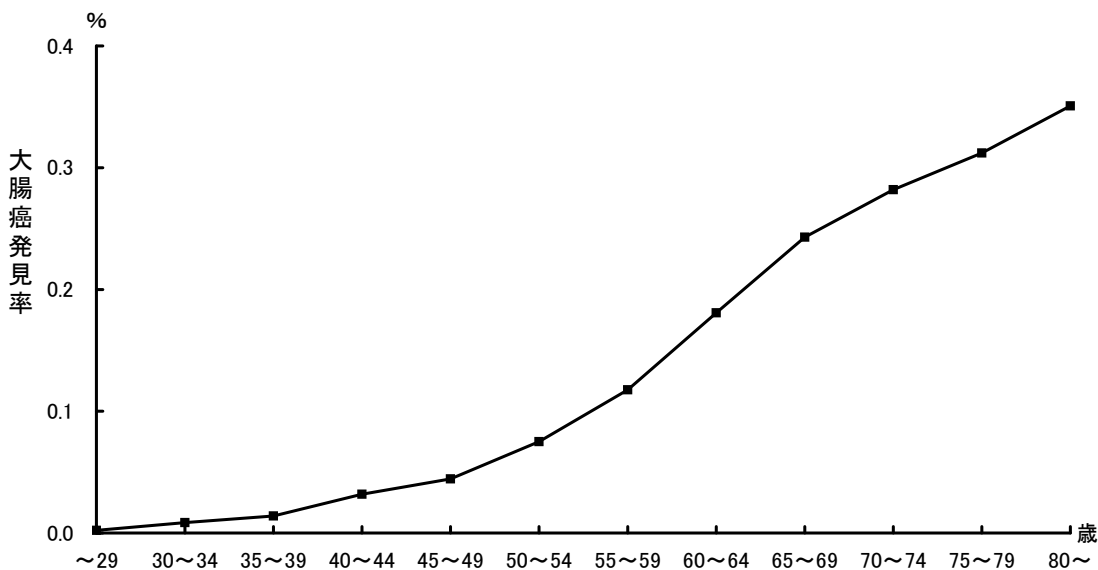


図11 大腸がん検診の大腸癌発見率  
(地域, 職域, その他, 男女計, 平成25年度)



## 2. 大腸検診の実施方法

大腸検診のスクリーニングの方法は、検便法だけによるものが61.3%、検便法に問診を加えた方

法が48.9%であった(表21)。

## 3. 大腸検診の成績

図12 大腸がん検診における大腸ポリープ（腺腫）および非腺腫性ポリープの発見率（地域，職域，その他，男女計，平成25年度）

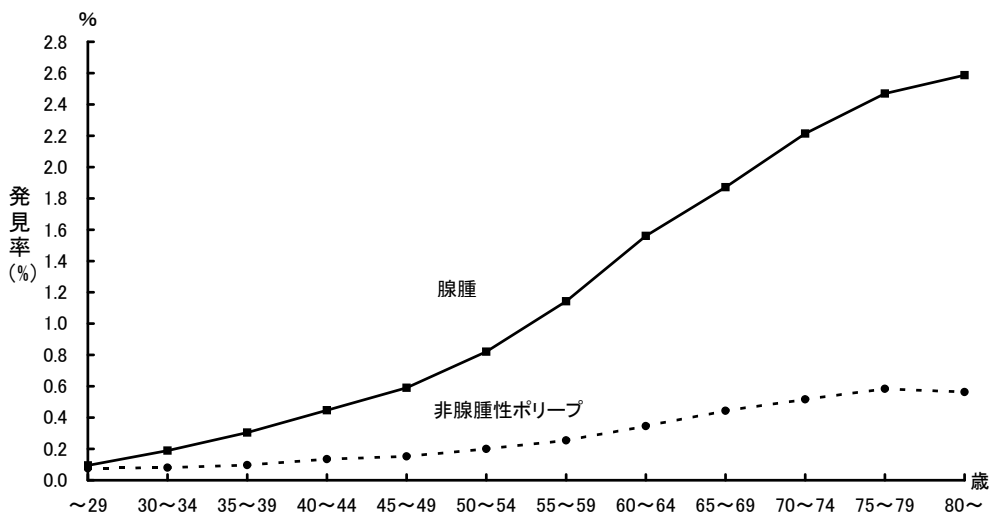


表23 大腸がん検診全国集計成績—男性—地域・職域・その他合計（平成25年度）

	総数	29以下	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	2,925,315	26,436	49,822	223,946	374,155	341,691	339,775	340,512	371,770	306,875	253,508	165,532	117,415	13,878
B 要精検者数	200,280	1,017	1,907	9,067	16,443	16,301	19,120	23,204	29,842	26,152	23,891	17,510	14,281	1,545
B/A %	6.85 %	3.85 %	3.83 %	4.05 %	4.39 %	4.77 %	5.63 %	6.81 %	8.03 %	8.52 %	9.42 %	10.58 %	12.16 %	11.13 %
C 精検受診者数	113,241	386	805	3,549	7,096	6,960	8,583	10,940	16,375	17,027	17,364	13,147	9,975	1,034
C/B %	56.54 %	37.95 %	42.21 %	39.14 %	43.16 %	42.70 %	44.89 %	47.15 %	54.87 %	65.11 %	72.68 %	75.08 %	69.85 %	66.93 %
D 大腸癌	5,071	1	3	34	108	151	269	463	885	998	960	660	471	68
D/A %	0.173 %	0.004 %	0.006 %	0.015 %	0.029 %	0.044 %	0.079 %	0.136 %	0.238 %	0.325 %	0.379 %	0.399 %	0.401 %	0.490 %
カルチノイド	73	0	1	2	7	3	12	22	10	7	5	2	2	0
腺腫性ポリープ	46,385	22	95	752	1,945	2,465	3,510	4,957	7,666	7,774	7,587	5,270	3,841	501
非腺腫性ポリープ	10,008	20	42	230	519	519	706	968	1,516	1,682	1,690	1,187	834	95
潰瘍性大腸炎	943	15	31	109	171	107	104	106	94	61	68	47	23	7
クローン氏病	51	0	3	10	4	6	7	5	2	6	3	3	0	2
大腸憩室	8,019	13	32	149	422	455	598	695	1,094	1,206	1,251	1,072	922	110
その他良性疾患	10,348	72	101	427	899	747	766	827	1,240	1,421	1,518	1,282	929	119
異常なし	25,728	212	430	1,593	2,542	2,051	2,090	2,280	3,057	2,973	3,349	2,776	2,271	104

\*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

平成25年度に行われた全国の男女合計の受診者総数は7,032,584人で前年度に比べ約13万人（1.9%）増加していた。大腸癌発見数は9,101例（0.129%）であった。対象区分別にみると大腸癌の発見率は地域検診0.223%、職域検診0.044%、その他検診0.092%であった（表22）。

地域，職域，その他検診のうち，年齢が5歳階級別に報告された男女合計5,663,621人について年齢別頻度を検討すると，受診者数の年齢分布は50歳代と60歳代があわせて48.0%と半数を占めた。39歳以下は8.4%，また70歳以上は20.1%を占めた

（図9）。要精検率をみると，ほぼ加齢に伴って上昇していた。精検受診率は，胃がん検診に比較して低い傾向がみられた（図10）。

大腸癌発見率は加齢とともに上昇していた。とくに，70歳代の発見率は，全年齢層の平均の2.1倍であった（図11）。大腸腺腫の発見率は1.3%で，これは大腸癌の8.7倍の頻度であり，発見率は加齢とともに上昇していた。非腺腫性ポリープの発見率は0.31%で，大腸癌の2.1倍の発見率であった（図12）。

性・年齢階級別の大腸がん検診全国集計成績を

表24 大腸がん検診全国集計成績—女性—地域・職域・その他合計（平成25年度）

	総数	29以下	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	2,769,035	18,078	31,708	128,344	306,212	282,160	297,275	318,629	405,375	354,212	299,405	189,852	120,934	16,851
B 要精検者数	156,047	1,327	1,779	6,362	15,264	13,547	13,689	15,276	21,140	20,051	19,477	14,762	11,891	1,482
B/A%	5.64%	7.34%	5.61%	4.96%	4.98%	4.80%	4.60%	4.79%	5.21%	5.66%	6.51%	7.78%	9.83%	8.79%
C 精検受診者数	102,365	331	718	2,601	7,595	6,828	7,914	10,036	15,214	15,401	15,383	11,487	7,891	966
C/B%	65.60%	24.94%	40.36%	40.88%	49.76%	50.40%	57.81%	65.70%	71.97%	76.81%	78.98%	77.81%	66.36%	65.18%
D 大腸癌	3,368	0	4	15	109	126	209	312	520	608	599	449	365	52
D/A%	0.122%	0.000%	0.013%	0.012%	0.036%	0.045%	0.070%	0.098%	0.128%	0.172%	0.200%	0.237%	0.302%	0.309%
カルチノイド	38	0	0	2	4	1	5	6	6	3	8	1	2	0
腺腫性ポリープ	26,828	20	59	321	1,092	1,219	1,718	2,578	4,459	4,601	4,652	3,506	2,326	277
非腺腫性ポリープ	7,411	14	24	110	399	428	569	707	1,175	1,248	1,167	889	508	173
潰瘍性大腸炎	640	7	12	52	106	76	62	70	85	63	42	35	19	11
クローン氏病	32	1	2	3	5	3	1	4	3	0	5	0	1	4
大腸憩室	7,174	4	18	85	279	315	455	649	1,073	1,131	1,218	1,057	795	95
その他良性疾患	11,790	42	76	331	1,103	884	960	1,136	1,657	1,716	1,656	1,205	820	204
異常なし	38,466	208	459	1,445	3,879	3,248	3,425	3,984	5,348	5,168	5,144	3,607	2,426	125

\*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

表25 地域大腸がん検診全国集計成績—男性—（平成25年度）

	総数	29以下	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	1,144,792	847	2,946	8,015	58,113	51,797	58,297	75,153	169,597	221,190	218,894	154,700	112,114	13,129
B 要精検者数	100,835	48	109	327	3,092	2,941	3,795	5,509	13,996	18,857	20,720	16,414	13,648	1,479
B/A%	8.82%	5.67%	3.70%	4.08%	5.32%	5.68%	6.51%	7.33%	8.25%	8.53%	9.47%	10.61%	12.17%	11.27%
C 精検受診者数	71,139	22	63	183	1,811	1,704	2,245	3,431	9,495	13,542	15,580	12,454	9,600	1,009
C/B%	70.48%	45.83%	57.80%	55.96%	58.57%	57.94%	59.16%	62.28%	67.84%	71.81%	75.19%	75.87%	70.34%	68.22%
D 大腸癌	3,768	0	1	2	29	51	96	193	552	833	853	634	457	67
D/A%	0.329%	0.000%	0.034%	0.025%	0.050%	0.098%	0.165%	0.257%	0.325%	0.377%	0.390%	0.410%	0.408%	0.510%
カルチノイド	20	0	0	0	1	1	2	0	5	4	3	2	2	0
腺腫性ポリープ	29,707	3	7	38	447	513	857	1,406	4,321	6,125	6,801	4,986	3,713	490
非腺腫性ポリープ	6,745	2	6	16	138	155	212	330	935	1,396	1,551	1,119	792	93
潰瘍性大腸炎	299	0	2	6	29	18	18	20	40	41	56	43	20	6
クローン氏病	17	0	0	0	0	2	1	2	0	5	2	3	0	2
大腸憩室	5,117	1	2	3	84	95	151	192	596	936	1,073	1,004	871	109
その他良性疾患	6,824	1	4	28	270	233	238	326	862	1,223	1,400	1,219	902	118
異常なし	14,709	11	39	84	674	520	555	753	1,770	2,330	3,036	2,648	2,187	102

\*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

表26 地域大腸がん検診全国集計成績—女性—（平成25年度）

	総数	29以下	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	1,752,785	1,321	4,453	13,517	127,794	111,490	127,354	166,065	301,066	307,123	277,671	181,953	116,577	16,401
B 要精検者数	107,053	75	261	726	7,007	5,822	6,384	8,428	15,864	17,415	18,054	14,115	11,445	1,457
B/A%	6.11%	5.68%	5.86%	5.37%	5.48%	5.22%	5.01%	5.08%	5.27%	5.67%	6.50%	7.76%	9.82%	8.88%
C 精検受診者数	79,586	31	156	457	4,257	3,633	4,412	6,358	12,345	13,819	14,456	11,054	7,649	959
C/B%	74.34%	41.33%	59.77%	62.95%	60.75%	62.40%	69.11%	75.44%	77.82%	79.35%	80.07%	78.31%	66.83%	65.82%
D 大腸癌	2,851	0	1	3	68	70	122	209	441	547	565	428	347	50
D/A%	0.163%	0.000%	0.022%	0.022%	0.053%	0.063%	0.096%	0.126%	0.146%	0.178%	0.203%	0.235%	0.298%	0.305%
カルチノイド	27	0	0	1	4	0	4	3	3	2	7	1	2	0
腺腫性ポリープ	21,683	5	15	54	551	625	906	1,580	3,586	4,098	4,348	3,383	2,257	275
非腺腫性ポリープ	6,106	4	5	17	246	231	367	475	993	1,135	1,104	859	497	173
潰瘍性大腸炎	362	0	2	5	56	34	22	42	54	45	40	34	17	11
クローン氏病	18	0	1	0	2	2	1	3	2	0	3	0	0	4
大腸憩室	5,858	0	1	13	129	158	248	424	863	1,001	1,144	1,012	770	95
その他良性疾患	9,371	6	22	60	679	527	598	781	1,403	1,585	1,560	1,150	797	203
異常なし	28,445	14	100	272	2,188	1,719	1,871	2,504	4,315	4,645	4,846	3,498	2,350	125

\*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

表23, 24に示した。受診者年齢層のピークは男女とも60歳代前半であった。大腸癌発見率は男0.173%, 女0.122%であった。

地域住民を対象とした大腸がん検診の全国集計成績を、表25, 26に示した。受診者年齢層のピークは男女とも60歳代後半であった。大腸癌発見率

は男0.329%, 女0.163%と高率であった。

#### 4. 発見大腸癌の追跡調査成績

1) 集計個票の送られてきたがん検診発見大腸癌のうち、36.7%は初回受診者、45.2%は1年前受診者であった(表27)。

表27 検診発見大腸癌の受診前歴  
(男女計, 平成25年度)

初回受診者	2,489 名	(36.7 %)
1年前 "	3,063 名	(45.2 %)
2年前 "	571 名	(8.4 %)
3年前 "	234 名	(3.5 %)
不明	421 名	(6.2 %)
計	6,778 名	(100.0 %)

表28 過去3年間の, 検診での便潜血検査  
受診回数 (男女計, 平成25年度)

0回	2,625 名	(39.2 %)
1回	924 名	(13.8 %)
2回	743 名	(11.1 %)
3回	1,266 名	(18.9 %)
4回以上	127 名	(1.9 %)
不明	1,010 名	(15.1 %)
計	6,695 名	(100.0 %)

表29 大腸検査受診歴  
(男女計, 平成25年度)

なし	2,237 名	(35.4 %)
0~1年前受診	158 名	(2.5 %)
1~2年前受診	78 名	(1.2 %)
2~3年前受診	98 名	(1.6 %)
不明	3,750 名	(59.3 %)
計	6,321 名	(100.0 %)

過去3年間に於いて, 検診で便潜血検査を受けた回数は1回が13.8%, 2回以上が31.9% (表28), 大腸検査受診歴のあるものが5.3% (表29)

表30 大腸がんの既往歴  
(男女計, 平成25年度)

なし	4,527 名	(71.3 %)
あり	47 名	(0.7 %)
不明	1,776 名	(28.0 %)
計	6,350 名	(100.0 %)

表31 大腸ポリープの既往歴  
(男女計, 平成25年度)

なし	3,806 名	(59.9 %)
あり	446 名	(7.0 %)
不明	2,104 名	(33.1 %)
計	6,356 名	(100.0 %)

表32 大腸ポリープ切除の既往歴  
(男女計, 平成25年度)

なし	3,889 名	(61.3 %)
あり	235 名	(3.7 %)
不明	2,222 名	(35.0 %)
計	6,346 名	(100.0 %)

であった。大腸癌の既往は0.7%, 大腸ポリープの既往は7.0%, 大腸ポリープ切除の既往は3.7%に認められた (表30, 31, 32)。

## 2) 治療の方法

外科手術は1,278例 (19.2%), 腹腔鏡下手術は1,941例 (29.2%), 内視鏡的ポリペクトミーは1,206例 (18.2%), 内視鏡的粘膜切除 (含:粘膜下層剥離術) は1,961例 (29.6%) に行われた (表33)。

## 3) 手術の種類

手術のうち, 結腸切除術が2,093例 (65.6%), 直腸切除術が762例 (23.9%), 人工肛門を造設した直腸切断術は101例 (3.2%) であった (表34)。

表33 治療の方法  
(男女計, 平成25年度)

外科手術	1,278	(19.2 %)
腹腔鏡下手術	1,941	(29.2 %)
内視鏡的ポリペクトミー	1,206	(18.2 %)
内視鏡的粘膜切除 (含:粘膜下層剥離術)	1,961	(29.6 %)
無治療	20	(0.3 %)
その他	88	(1.3 %)
不明	148	(2.2 %)
計	6,642	(100.0 %)

表34 手術の種類  
(男女計, 平成25年度)

結腸切除	2,093	(65.6 %)
直腸切除	762	(23.9 %)
直腸切断 (人工肛門造設)	101	(3.2 %)
その他	104	(3.3 %)
不明	126	(4.0 %)
計	3,186	(100.0 %)

表35 癌病巣の数  
(男女計, 平成25年度)

単発	6,011	(91.7 %)
2個	296	(4.5 %)
3個	53	(0.8 %)
4個以上	37	(0.6 %)
不明	156	(2.4 %)
計	6,553	(100.0 %)

#### 4) 癌病巣の数

単発は6,011例(91.7%), 多発は386例(5.9%)であった(表35)。

#### 5) 占居部位

発見大腸癌の占居部位は6,464例中, 最も多いのがS状結腸で2,098例(32.5%), ついで直腸の

表36 癌病巣の部位  
(男女計, 平成25年度)

部 位	例 数
肛 門 管 (P)	21 (0.3 %)
直 腸 (R)	1,356 (21.0 %)
直腸S状部 (RS)	613 (9.5 %)
S状結腸 (S)	2,098 (32.5 %)
下行結腸 (D)	298 (4.6 %)
横行結腸 (T)	637 (9.9 %)
上行結腸 (A)	1,009 (15.6 %)
盲 腸 (C)	423 (6.5 %)
虫 垂 (V)	9 (0.1 %)
計	6,464 (100.0 %)

表37 肉眼分類  
(男女計, 平成25年度)

0型	4,025	(63.0 %)
1型	402	(6.3 %)
2型	1,757	(27.5 %)
3型	167	(2.6 %)
4型	6	(0.1 %)
5型	34	(0.5 %)
計	6,391	(100.0 %)

1,356例(21.0%)であり(表36), 両者で過半数を占めた。

#### 6) 大腸癌の肉眼分類

0型が4,025例(63.0%)と最も多くみられた。そのうちI s p型が1,278例(31.7%)で, IIc型は96例(2.4%)のみであった。また2型が1,757例(27.5%)と多く, 4型は6例(0.1%)のみであった(表37, 38)。

#### 7) 大きさと環周度

直径1.0cm以下のもの1,280例(22.2%), 1.1~2.0cmが2,027例(35.1%)と2cm以下が過半数を占めた(表39)。環周度は1/3以下が3,205例(71.4%)で2/3を超えており, 全周性が263例(5.9%)



表38 0型（表在型）の肉眼分類  
（男女計，平成25年度）

I p	912	(22.7 %)
I sp	1,278	(31.7 %)
I s	559	(13.9 %)
II a	625	(15.5 %)
II a+ II c	262	(6.5 %)
II b	11	(0.3 %)
II c	96	(2.4 %)
その他	182	(4.5 %)
不 明	100	(2.5 %)
計	4,025	(100.0 %)

表39 大腸癌の大きさ（長径）  
（男女計，平成25年度）

大きさ(cm)	病巣数	
～1.0	1,280	(22.2 %)
1.1～2.0	2,027	(35.1 %)
2.1～5.0	2,054	(35.6 %)
5.1～	412	(7.1 %)
計	5,773	(100.0 %)

表40 大腸癌の環周度  
（男女計，平成25年度）

1/3 以下	3,205	(71.4 %)
1/2 以下	599	(13.3 %)
3/4 以下	258	(5.7 %)
3/4 以上	168	(3.7 %)
全 周	263	(5.9 %)
計	4,493	(100.0 %)

表41 大腸癌のStage分類  
（男女計，平成25年度）

Stage O	2,243	(34.2 %)
Stage I	1,538	(23.4 %)
Stage II	651	(9.9 %)
Stage IIIa	590	(9.0 %)
Stage IIIb	178	(2.7 %)
Stage IV	166	(2.5 %)
不 明	1,199	(18.3 %)
計	6,565	(100.0 %)

表42 大腸癌の深達度  
（男女計，平成25年度）

M	2,908	(44.5 %)
SM	1,243	(19.0 %)
MP	723	(11.1 %)
SS(A)	1,078	(16.5 %)
SE	297	(4.5 %)
SI(AI)	50	(0.8 %)
不明	234	(3.6 %)
計	6,533	(100.0 %)

表43 大腸癌のDukes分類  
（男女計，平成25年度）

Dukes A	1,538	(42.1 %)
Dukes B	651	(17.8 %)
Dukes C	768	(21.0 %)
Dukes D	166	(4.5 %)
不 明	534	(14.6 %)
計	3,657	(100.0 %)

に認められた（表40）。

8) Stage分類

Stage 0 とStage I で3,781例（57.6%）と半

数以上を占めた。StageIVは166例（2.5%）であった（表41）。

9) 深達度分類

Mは2,908例（44.5%），SMは1,243例（19.0%）

表44 リンパ節転移の有無  
(男女計, 平成25年度)

<b>N0</b>	4,617	(72.0 %)
<b>N1</b>	658	(10.3 %)
<b>N2</b>	226	(3.5 %)
<b>N3</b>	35	(0.5 %)
<b>不明</b>	877	(13.7 %)
<b>計</b>	6,413	(100.0 %)

表45 遠隔転移の有無  
(男女計, 平成25年度)

<b>なし</b>	5,347	(83.7 %)
<b>あり</b>	191	(3.0 %)
<b>不明</b>	851	(13.3 %)
<b>計</b>	6,389	(100.0 %)

表46 大腸癌の組織型分類  
(男女計, 平成25年度)

乳頭腺癌 (pap)	187	(2.9 %)
高分化管状腺癌 (tub1)	3,792	(58.8 %)
中分化管状腺癌 (tub2)	1,596	(24.8 %)
低分化腺癌 (por)	90	(1.4 %)
粘液癌 (muc)	61	(0.9 %)
印環細胞癌 (sig)	5	(0.1 %)
その他	133	(2.1 %)
不明	578	(9.0 %)
<b>計</b>	6,442	(100.0 %)

であり、合計で63.5%と早期癌が全体の約2/3を占めた。進行癌を深達度別にみると、MP723例(11.1%)、SS(A)1,078例(16.5%)、SE297例(4.5%)、SI(AI)50例(0.8%)であった(表42)。

10) Dukes分類

Dukes Aは1,538例(42.1%)であった(表43)。

11) 転移の有無

リンパ節転移ありは6,413例中919例(14.3%)

表47 食道がん検診の全国集計成績  
(平成25年度)

受診者総数	1,042,674人
男	637,877人 (61.2%)
女	404,797人 (38.8%)
発見疾患と発見率	
食道癌	148名 (0.01%)
食道ポリープ	2,186名 (0.21%)
食道炎	36,027名 (3.46%)
バレット潰瘍	587名 (0.06%)
静脈瘤	729名 (0.07%)
その他の疾患	64,802名 (6.21%)

表48 肝胆膵検診の全国集計成績 (平成25年度)

受診者総数	1,264,113人
男	688,401人 (54.5%)
女	575,712人 (45.5%)
発見疾患と発見率	
肝癌(原発性)	87名 (0.007%)
肝癌(転移性)	42名 (0.003%)
肝硬変症	297名 (0.02%)
脂肪肝	217,651名 (17.2%)
肝嚢胞	163,254名 (12.9%)
胆嚢癌	38名 (0.003%)
胆嚢ポリープ	139,283名 (11.0%)
胆石症	41,711名 (3.3%)
膵癌	81名 (0.006%)
膵石症	498名 (0.039%)
膵嚢胞	7,472名 (0.59%)
腎癌	159名 (0.013%)

であった。遠隔転移ありは6,389例中191例(3.0%)であった(表44, 45)。

12) 組織型分類

病理組織検査を行った6,442例中、高分化管状腺癌が3,792例(58.8%)で最も多く、ついで、中分化管状腺癌が1,596例(24.8%)であった(表46)。

Ⅲ 食道がん検診および肝胆膵検診全国集計

1. 食道がん検診

食道がん検診の受診者総数は1,042,674人であった。また、発見食道癌は148例(0.01%)、食道ポリープ2,186例(0.21%)、食道炎36,027例(3.46%)

であった（表47）。

## 2. 肝胆膵検診

肝胆膵検診の受診者総数は1,264,113人であった。発見疾患は、脂肪肝17.2%、肝嚢胞12.9%、胆嚢ポリープ11.0%、胆石症3.3%であり、少数例ではあるが肝硬変症297例（0.02%）、原発性肝癌87例（0.007%）、転移性肝癌42例（0.003%）、胆嚢癌38例（0.003%）、膵癌81例（0.006%）、腎癌159例（0.013%）が発見された（表48）。

## IV まとめ

平成25年度の消化器がん検診全国集計について

要約すると以下のようなになる。

（1）胃がん検診については、受診者総数が6,776,770人で、前年度比-2.5%、約17万人の減少、発見胃癌は5,216例（発見率0.077%）であった。地域検診は、全体の40.6%の約252万人であった。

（2）大腸がん検診は全国で7,032,584人、前年度比+1.9%、約13万人の増加、発見大腸癌9,101例（発見率0.129%）であった。

なお、アンケートの回答をおよせいただいた全国の検診機関、および学会の役職員や事務局の方々、各県の全国集計協力委員、認定医の先生方の絶大な協力に対して厚く御礼申し上げます。

表49

## 胃がん検診

	A 受診者数	B 要 精検者数	C 精検 受診者数	D 胃癌 発見数	E D票 回収数	B/A 要 精検率	C/B 精検 受診率	D/A 胃癌 発見率	D/B 適中度	E/D D票 回収率	
											CI票 胃X線対象区分
全 国	6,776,770	457,480	281,451	5,216	4,073	6.75	61.5	0.077	1.14	78.1	
支 部 別	北海道	347,999	21,169	14,904	350	350	6.08	70.4	0.101	1.65	100.0
	東 北	1,053,645	78,572	58,312	1,113	1,036	7.46	74.2	0.106	1.42	93.1
	関東甲信越	1,764,021	129,705	76,133	1,451	976	7.35	58.7	0.082	1.12	67.3
	東海北陸	1,122,182	77,568	40,663	596	389	6.91	52.4	0.053	0.77	65.3
	近 畿	944,698	55,345	28,426	562	399	5.86	51.4	0.059	1.02	71.0
	中国四国	505,957	29,997	20,306	441	323	5.93	67.7	0.087	1.47	73.2
	九 州	1,038,268	65,124	42,707	703	600	6.27	65.6	0.068	1.08	85.3
北海道	北海道	347,999	21,169	14,904	350	350	6.08	70.4	0.101	1.65	100.0
東 北	青 森	184,293	13,835	9,767	120	120	7.51	70.6	0.065	0.87	100.0
	岩 手	196,549	11,712	9,222	188	172	5.96	78.7	0.096	1.61	91.5
	秋 田	84,924	8,631	6,178	107	79	10.16	71.6	0.126	1.24	73.8
	宮 城	251,464	16,839	12,067	364	354	6.70	71.7	0.145	2.16	97.3
	山 形	228,758	19,090	14,456	219	209	8.35	75.7	0.096	1.15	95.4
	福 島	107,657	8,465	6,622	115	102	7.86	78.2	0.107	1.36	88.7
関 東 甲 信 越	茨 城	167,736	14,161	10,335	186	169	8.44	73.0	0.111	1.31	90.9
	群 馬	97,769	8,534	4,490	86	67	8.73	52.6	0.088	1.01	77.9
	栃 木	81,725	7,419	5,710	122	111	9.08	77.0	0.149	1.64	91.0
	埼 玉	99,035	6,001	3,340	74	74	6.06	55.7	0.075	1.23	100.0
	千 葉	238,277	21,916	13,278	266	129	9.20	60.6	0.112	1.21	48.5
	東 京	312,382	19,735	10,027	128	110	6.32	50.8	0.041	0.65	85.9
	神奈川	358,377	23,170	7,087	146	23	6.47	30.6	0.041	0.63	15.8
	山 梨	62,025	4,627	3,275	36	34	7.46	70.8	0.058	0.78	94.4
	長 野	90,929	8,619	6,416	69	5	9.48	74.4	0.076	0.80	7.2
新 潟	255,766	15,523	12,175	338	254	6.07	78.4	0.132	2.18	75.1	
東 海 北 陸	富 山	116,367	6,318	4,293	121	82	5.43	67.9	0.104	1.92	67.8
	石 川	65,248	5,486	4,292	58	57	8.41	78.2	0.089	1.06	98.3
	福 井	42,647	3,037	2,056	46	35	7.12	67.7	0.108	1.51	76.1
	静 岡	233,767	12,814	7,965	123	97	5.48	62.2	0.053	0.96	78.9
	愛 知	346,306	29,614	12,103	120	40	8.55	40.9	0.035	0.41	33.3
	三 重	116,719	4,805	2,061	32	17	4.12	42.9	0.027	0.67	53.1
岐 阜	201,128	15,494	7,893	96	61	7.70	50.9	0.048	0.62	63.5	

胃がん検診

		A 受診者数	B 要 精検者数	C 精検 受診者数	D 胃癌 発見数	E D票 回収数	B/A 要 精検率	C/B 精検 受診率	D/A 胃癌 発見率	D/B 適中度	E/D D票 回収率
		C I 票 胃X線対象区分				X線造影					
近畿	滋賀	88,065	5,626	2,873	44	28	6.39	51.1	0.050	0.78	63.6
	奈良	33,001	1,475	698	25	16	4.47	47.3	0.076	1.69	64.0
	京都	180,316	15,172	5,482	76	17	8.41	36.1	0.042	0.50	22.4
	大阪	396,062	19,650	10,340	213	164	4.96	52.6	0.054	1.08	77.0
	和歌山	20,597	1,776	1,008	12	9	8.62	56.8	0.058	0.68	75.0
	兵庫	226,657	11,646	8,025	192	165	5.14	68.9	0.085	1.65	85.9
中国 四国	鳥取	29,924	2,190	1,477	34	20	7.32	67.4	0.114	1.55	58.8
	島根	43,235	3,199	2,036	40	32	7.40	63.6	0.093	1.25	80.0
	岡山	69,061	2,659	1,645	34	1	3.85	61.9	0.049	1.28	2.9
	広島	95,033	4,730	2,603	63	52	4.98	55.0	0.066	1.33	82.5
	山口	40,074	3,761	1,542	18	0	9.39	41.0	0.045	0.48	0.0
	香川	29,075	2,467	2,317	52	52	8.48	93.9	0.179	2.11	100.0
	徳島	25,393	1,930	1,512	39	34	7.60	78.3	0.154	2.02	87.2
	愛媛	75,560	5,454	4,501	87	70	7.22	82.5	0.115	1.60	80.5
高知	98,602	3,607	2,673	74	62	3.66	74.1	0.075	2.05	83.8	
九州	福岡	460,573	27,262	15,145	279	230	5.92	55.6	0.061	1.02	82.4
	佐賀	31,428	3,585	2,969	51	51	11.41	82.8	0.162	1.42	100.0
	長崎	42,054	4,183	2,560	33	28	9.95	61.2	0.078	0.79	84.8
	熊本	132,802	6,090	4,068	91	89	4.59	66.8	0.069	1.49	97.8
	大分	96,644	4,573	3,529	45	28	4.73	77.2	0.047	0.98	62.2
	宮崎	58,484	4,329	3,038	54	41	7.40	70.2	0.092	1.25	75.9
	鹿児島	123,608	11,256	9,748	130	123	9.11	86.6	0.105	1.15	94.6
沖縄	92,675	3,846	1,650	20	10	4.15	42.9	0.022	0.52	50.0	

大腸がん検診		A	B	C	D	E	B/A	C/B	D/A	D/B	E/D
		受診者数	要 精検者数	精検 受診者数	大腸癌 発見数	D票 回収数	要 精検率	精検 受診率	大腸癌 発見率	適中度	D票 回収率
		C I 票 検便法				E 検便法					
全 国		7,032,584	437,485	236,011	9,101	6,696	6.22	53.9	0.129	2.08	73.6
支 部 別	北海道	296,076	21,736	13,579	547	547	7.34	62.5	0.185	2.52	100.0
	東 北	1,151,135	70,292	47,030	1,604	1,523	6.11	66.9	0.139	2.28	95.0
	関東甲信越	1,991,135	130,695	64,463	2,946	1,219	6.56	49.3	0.148	2.25	41.4
	東海北陸	958,400	58,729	24,805	913	749	6.13	42.2	0.095	1.55	82.0
	近 畿	835,992	43,985	20,700	935	883	5.26	47.1	0.112	2.13	94.4
	中国四国	509,368	30,542	18,086	635	480	6.00	59.2	0.125	2.08	75.6
	九 州	1,290,478	81,506	47,348	1,521	1,295	6.32	58.1	0.118	1.87	85.1
北海道	北海道	296,076	21,736	13,579	547	547	7.34	62.5	0.185	2.52	100.0
東 北	青 森	194,261	11,935	7,596	222	222	6.14	63.6	0.114	1.86	100.0
	岩 手	231,648	12,680	8,907	369	366	5.47	70.2	0.159	2.91	99.2
	秋 田	113,167	7,715	5,373	211	158	6.82	69.6	0.186	2.73	74.9
	宮 城	177,051	8,995	4,714	236	212	5.08	52.4	0.133	2.62	89.8
	山 形	268,940	15,495	10,717	311	311	5.76	69.2	0.116	2.01	100.0
	福 島	166,068	13,472	9,723	255	254	8.11	72.2	0.154	1.89	99.6
関 東 甲 信 越	茨 城	200,611	13,912	9,474	386	333	6.93	68.1	0.192	2.77	86.3
	群 馬	109,710	7,550	5,065	295	203	6.88	67.1	0.269	3.91	68.8
	栃 木	112,020	6,667	4,192	152	148	5.95	62.9	0.136	2.28	97.4
	埼 玉	112,639	9,294	3,869	173	157	8.25	41.6	0.154	1.86	90.8
	千 葉	102,875	7,713	3,346	156	6	7.50	43.4	0.152	2.02	3.8
	東 京	215,268	15,912	6,174	224	197	7.39	38.8	0.104	1.41	87.9
	神奈川	567,814	35,281	11,355	730	36	6.21	32.2	0.129	2.07	4.9
	山 梨	130,657	7,888	4,286	142	46	6.04	54.3	0.109	1.80	32.4
	長 野	159,530	10,655	6,527	245	38	6.68	61.3	0.154	2.30	15.5
	新 潟	280,011	15,823	10,175	443	55	5.65	64.3	0.158	2.80	12.4
東 海 北 陸	富 山	65,757	3,756	2,198	92	64	5.71	58.5	0.140	2.45	69.6
	石 川	85,360	5,190	3,719	152	152	6.08	71.7	0.178	2.93	100.0
	福 井	54,054	2,848	2,040	111	97	5.27	71.6	0.205	3.90	87.4
	静 岡	350,421	20,060	9,707	357	292	5.72	48.4	0.102	1.78	81.8
	愛 知	112,728	7,614	2,347	62	41	6.75	30.8	0.055	0.81	66.1
	三 重	126,156	8,592	2,096	48	36	6.81	24.4	0.038	0.56	75.0
	岐 阜	163,924	10,669	2,698	91	67	6.51	25.3	0.056	0.85	73.6

大腸がん検診		A	B	C	D	E	B/A	C/B	D/A	D/B	E/D
		受診者数	要 精検者数	精検 受診者数	大腸癌 発見数	D票 回収数	要 精検率	精検 受診率	大腸癌 発見率	適中度	D票 回収率
		C I 票 検便法				E D票 回収数 検便法					
近畿	滋賀	68,610	4,911	3,949	257	257	7.16	80.4	0.375	5.23	100.0
	奈良	20,844	1,273	550	16	5	6.11	43.2	0.077	1.26	31.3
	京都	162,336	8,101	1,084	31	31	4.99	13.4	0.019	0.38	100.0
	大阪	314,430	14,779	6,064	258	258	4.70	41.0	0.082	1.75	100.0
	和歌山	21,210	1,370	591	21	17	6.46	43.1	0.099	1.53	81.0
	兵庫	248,562	13,551	8,462	352	315	5.45	62.4	0.142	2.60	89.5
中国四国	鳥取	42,269	2,981	1,707	53	38	7.05	57.3	0.125	1.78	71.7
	島根	67,698	3,840	2,503	131	65	5.67	65.2	0.194	3.41	49.6
	岡山	34,148	2,594	414	5	3	7.60	16.0	0.015	0.19	60.0
	広島	65,831	4,620	2,618	109	108	7.02	56.7	0.166	2.36	99.1
	山口	48,169	2,607	1,060	27	5	5.41	40.7	0.056	1.04	18.5
	香川	19,629	1,109	934	32	32	5.65	84.2	0.163	2.89	100.0
	徳島	25,242	2,125	1,321	23	15	8.42	62.2	0.091	1.08	65.2
	愛媛	105,229	6,738	5,058	133	106	6.40	75.1	0.126	1.97	79.7
	高知	101,153	3,928	2,471	122	108	3.88	62.9	0.121	3.11	88.5
九州	福岡	494,210	30,272	14,975	593	505	6.13	49.5	0.120	1.96	85.2
	佐賀	54,963	4,311	3,034	85	85	7.84	70.4	0.155	1.97	100.0
	長崎	52,593	3,648	2,536	89	79	6.94	69.5	0.169	2.44	88.8
	熊本	255,918	14,716	10,578	281	281	5.75	71.9	0.110	1.91	100.0
	大分	130,606	8,065	5,146	151	106	6.18	63.8	0.116	1.87	70.2
	宮崎	45,653	3,101	1,348	42	29	6.79	43.5	0.092	1.35	69.0
	鹿児島	103,081	8,015	5,907	161	157	7.78	73.7	0.156	2.01	97.5
	沖縄	153,454	9,378	3,824	119	53	6.11	40.8	0.078	1.27	44.5